

トラクターの直進アシスト(GS)機能も体験 東部農機センターきたセンターで農機相談会を実施

JA全農かながわ（東部農機センターきたセンター）は9月9日と10日の2日間、農機相談会を開催し、来場者は約60人を記録した。開催期間中にはトラクターの実演も行われ、実演には組合員や行政職員など約15人が訪れた。

実演が行われたのはクボタ社製NB-21GS（21ps）。直進アシスト（GS）機能が特徴的なモデルだ。直進アシスト（GS）機能とは、あらかじめ始点と終点をトラクターに記録すると、GPSによって仮想の基準線が設定される。次の工程からGSモードをオンにすると、トラクターの位置情報と照らし合わせ、基準線に対して平行に走行する機能のことである。

事務局を務めたきたセンター職員は「耕運やマルチ張りなどに求められるトラクターの直線走行は、技術が必要で初心者にとっては習得が難しい作業である。

その作業が自動化することで、就農したての人でも即戦力になり得る。突然、後継者に事業を継がせる事態になっても安心して引き継ぐことも可能となってくるだろう」と新たな可能性を語った。



直進アシスト（GS）機能を体験する生産者

「基本ルールの徹底と見える化」が事故ゼロにつながる フォークリフト安全運転講習会

コンプライアンス推進課と全農物流（株）は10月6日、フォークリフト安全運転講習会を本会田村事務所で開いた。フォークリフトによる労働災害の防止と安全運転操作への意識向上を目的としたもので、県内3JAや本会のリフト従事者および関係者ら6人が参加した。

講習会ではトヨタL&F東京株式会社を講師役に迎え、参加者はフォークリフト災害の発生状況や原因、安全対策を学んだ。その後、実機講習を通し、点検方法や昇降の仕方など講義で学んだことを振り返り、参加者の理解促進につなげた。

全国で見るとフォークリフトに起因する死亡事故は年間約30件発生している。死亡事故の区分としては「はさまれ・巻き込まれ」「転倒」「飛来・落下」「墜落・転落」が多くある。講義では実際に事故が起きた時の映像を見て状況や原因を確認した。また、安全性を損なうはずのルール違反を“なぜ人はしてしまうのか”という心理的な側面からも、作業安全へのアプローチ

を学んだ。

参加者へは「基本ルールの徹底することが安全作業への第一歩。事故を防ぐには、床に白線を引き、置き場・通路・歩行帯を区分けすることや、指差呼称をするなど、ルールを決めて、それが守られているか『見える化』することが重要」と注意を呼びかけた。



事故原因と対策を真剣に学ぶ参加者

JA葬祭神奈川が障がい者施設にろうそく寄付 葬儀での使用済みろうそくが就労支援に

JA葬祭神奈川（神奈川県JA葬祭事業運営協議会）は9月13日、川崎市中原区にある曹洞宗大乗院に葬儀などで使用済みとなったろうそく約80キロを託した。託されたろうそくは大乗院 和田学英住職を通して 取手市立障がい者福祉センターふじしろ（茨城県取手市）に贈呈され、利用者が手作りする着火剤の材料として使用される。

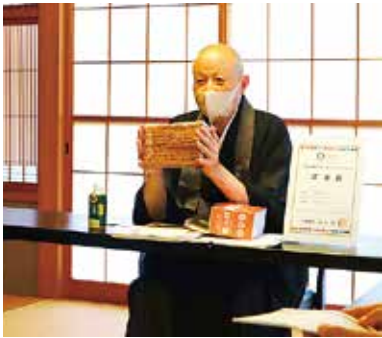
葬儀などで使用済みとなったろうそくを寄付する取り組みは、曹洞宗茨城県宗務所 山崎孝裕所長（同宗 瑞源寺住職）の呼びかけによって広がりを見せている。その呼びかけに応じた大乗院 和田住職が連携先を求めているところ、日頃から付き合いのあった川崎市内を管轄するJA葬祭 セレササービス株式会社（JAセレサ川崎子会社）が賛同して寄付を行なった。JA葬祭神奈川がこれに続いたことにより、施設利用者の就労支援につながるこの取り組みは神奈川県全域のJA葬祭まで広がることとなった。

JA葬祭神奈川は平成11年に神奈川県下のJA葬祭担当部署が集まり発足、葬祭事業を通じて組合員をサポートしている。

JA葬祭神奈川 平澤一郎会長は「JAの組織力を生か

して、県外にもろうそく寄付の取り組みを広げられれば」とコメントした。

寄付に際して和田住職は、「寺院らしいSDGsの取り組みを模索する中で、ろうそくの寄付であれば無理なくできる。今回、さらに取り組みの輪が神奈川県全域にまで広がった。コロナ禍で『人助けの輪』が減ってしまっただが、本取り組みを通して一層広がれば」と期待を寄せる。



作られる着火剤を手に
和田住職は取り組みへの想いを話した



川崎市にある大乗院



左から徳重副会長、平澤会長（JA葬祭神奈川）、和田住職

JAマイホーム・アパート建築キャンペーン 建築のお申し込みでカタログギフトを進呈中

施設部は、11月21日から2023年1月31日まで「JAマイホーム・アパート建築キャンペーン」を実施しています。

期間中に建築確認申請依頼書をいただき、かつ依頼日から1年以内に施設建設契約を締結していただいた方に、カタログギフトの進呈を行っています。キャンペーン詳細は、全農かながわホームページでご覧ください。



↓詳細はこちらから↓

